

29年3月分

問屋、仲買・小売商の先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成29年 3月1日～ 29年3月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の問屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
3月分の回答企業数は41社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/3月	4月	5月
仕入動向	国産材	△ 8.1	△ 1.6	0.0
	外材	△ 9.2	△ 1.3	0.0
販売動向	国産材	△ 11.3	△ 1.6	1.7
	外材	△ 11.8	△ 3.9	△ 1.4
在庫動向	国産材	△ 4.8	△ 6.5	△ 5.2
	外材	0.0	△ 4.1	△ 2.9

・国産材及び外材製材品の仕入れは3月、4月のやや減少が、5月は横ばい。

・国産材製材品の販売は3月、4月のやや減少が、5月は若干の増加。外材は3ヵ月連続して減少。

・国産材製材品の在庫は3ヵ月連続して減少。外材は3月の横ばいから、4月、5月はやや減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	29/3月	4月	5月
スギ正角(グリーン)	△ 4.3	△ 2.2	△ 2.4
スギ正角(KD)	10.4	2.1	0.0
ヒノキ正角	4.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	8.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	6.3	2.2	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	8.3	0.0	0.0
米マツ平角	6.0	0.0	2.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	33.3	8.9	5.8
ホワイトウッド集成管柱	11.7	0.0	0.0
レッドウッド集成平角	14.0	4.0	4.2
型枠合板(輸入)	16.7	△ 4.2	2.3
針葉樹構造用合板	37.0	17.4	9.5
針葉樹構造用合板(厚物)	40.9	19.0	10.0

・スギ正角(グリーン)の価格はやや弱含み。スギ正角(KD)はやや強含みから5月は横ばい。ヒノキ正角、土台角はやや強保合で推移。

・米ツガ正角、割物はやや強含みないし横ばいで推移、土台角は3ヵ月連続して横ばい。

・北洋アカマツタルキは強含みで推移。WW集成管柱はやや強保合。RW集成平角はやや強含みで推移。

・型枠合板(輸入)は3月の強含みからやや強保合に。針葉樹構造用合板は強含みで推移。